

WHO ファクトシート

狂犬病

Rabies

2018 年 9 月 13 日

重要な事実

- ・狂犬病はワクチン接種で予防可能なウィルス性の疾病であり、150 以上の国と地域で発生している。
- ・犬は、人への狂犬病感染の 99% 以上に関与し、人の狂犬病による死亡の主要な感染源である。
- ・狂犬病の撲滅は、犬へのワクチン接種や犬の噛みつき防止によって、実現可能である。
- ・狂犬病感染により、主としてアジアとアフリカで、毎年何万人もが死亡している。
- ・狂犬病を疑われる動物に咬まれた人の 40% は、15 歳未満の子どもたちである。
- ・狂犬病を疑われる動物と接触後は、速やかに傷口を石鹼と水で洗浄することが肝要であり、それにより救命できることがある。
- ・WHO、世界動物保健機関(OIE)、国連食糧農業機関(FAO)及び狂犬病対策世界連盟(GARC)は、「2030 年までに狂犬病による人の死亡をゼロに」を実現する共通戦略を普及するグローバルな「狂犬病対策で連合する」コラボレーションを設立した。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Rabies ファクトシート原文は [こちら](#)